

## 2024年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
地理歴史	歴史総合	2	1年次	鈴木 司・小林 琢			
選択するときの条件	必履修科目なので、必ず履修してください。						
使用教科書	山川出版社「わたしたちの歴史 日本から世界へ」	使用副教材	山川出版社「わたしたちの歴史 日本から世界へ ノート」				
科目の目標			道徳教育のねらい				
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。			よりよい社会の実現を目指す国家および社会の形成者としての態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				
学習活動内容		育てたい6つの力（資質・能力）					
		1	2	3	4	5	6
		主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自己認知 ・協働力	計画 実行力
歴史の扉							
1	(1)歴史と私たち(P14～15)	○	○	◎	◎	○	
2	(2)歴史の特質と資料(P16～17)	○	○	◎	◎	○	
第1部 近代化と私たち							
3	(1)近代化への問い(P20～25)	◎	○	○	◎	◎	
4	(2)結びつく世界と日本の開国(P26～41)	○	◎	◎	○		
5	(3)国民国家と明治維新(P42～63)	○	◎	◎	○		
6	(4)近代化と現代的な諸課題(P60～63)	◎	○	◎	◎	◎	
第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち							
7	(1)国際秩序の変化や大衆化への問い(P66～71)	◎	○	○	◎	◎	
8	(2)第一次世界大戦と大衆社会(P72～91)	○	◎	◎	○		
9	(3)経済危機と第二次世界大戦(P92～115)	○	◎	◎	○		
10	(4)国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題(P112～115)	◎	○	◎	◎	◎	
第3部 グローバル化と私たち							
11	(1)グローバル化への問い(P118～125)	◎	○	○	◎	◎	
12	(2)冷戦と世界経済(P126～137)	○	◎	◎	○		
13	(3)世界秩序の変容と日本(P138～163)	○	◎	◎	○		
14	(4)現代的な諸課題の形成と展望(P160～163)	◎	○	◎	◎	◎	
15	グループワーク	◎			◎	◎	
16	課題提出	◎			○	◎	
17	考査		◎	◎			◎
評価の観点		知識・技能	思考 判断 表現		主体的に学習に取り組む態度		
		諸事象を世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	諸事象の意義や特色などを年代、比較、現在のつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し、解決に向けて考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論することができる。		見通しをもって学習に取り組み、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとし、学習を振り返り、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。		
評価の方法		次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。 <b>A: 目標に対する到達度が70%～100%</b> <b>B: 目標に対する到達度が45%～69%</b> <b>C: 目標に対する到達度が0%～44%</b>					
		教科・科目における各観点	授業における取組		定期考査など		ノートやレポートなどの課題
		知識・技能	○		◎		○
		思考・判断・表現	◎		◎		○
		主体的に学習に取り組む態度	○		○		◎

# 歴史総合 授業計画

授 業 計 画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4	歴史の扉(2)	・身近な事柄と歴史との結びつきを理解する。 ・資料から得た情報を基に考察し、表現する。	1 歴史と私たち(1) 2 歴史と資料(1)	
	5	第1部 近代化と私たち(19)	・近代化に伴う生活や社会の変容について問いを表現し、今後の学習に対して見通しを立てる。 ・18世紀のアジア諸国と欧米諸国の関係について多面的・多角的に考察し、表現することで、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。	近代化への問い(2) 1 18世紀の世界とアジア(1) 2 産業革命(1) 3 アヘン戦争と日本(1) 4 日本の開国(1) 5 日本開国期の国際情勢(1) 6 開国後の日本社会(1.5) 7 市民革命と国民統合(1) 8 明治維新(1) 9 富国強兵と文明開化(1) 10 日本の明治初期の外交(1.5) 11 大日本帝国憲法の制定(1) 12 日本の産業革命と日清戦争(1) 13 帝国主義(1) 14 日露戦争と韓国併合(1)	
		6	前期中間考査(1)	・市民革命や明治維新後の諸改革などを多面的・多角的に考察することで、立憲体制と国民国家の形成について理解する。 ・地図などを活用し帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することで、アジア諸国にどのような影響を与えたかを理解する。 ・資料を活用し現代的な諸課題に関わる課題について考察し、探究した結果を表現するとともに、自らの問いに対して、新たに加わった視点や理解が深まった点などについてまとめる。	いまの私たちにつながる課題(2) 国際秩序の変化や大衆化への問い(2)
	7	第2部	・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について問いを表現し、今後の学習に対して見通しを立てる。	1 大衆運動の芽ばえ(1) 2 第一次世界大戦(1) 3 第一次世界大戦と日本(1) 4 ロシア革命とその影響(1) 5 社会運動の広がり(1) 6 国際協調(1.5) 7 アジアの民族運動(1) 8 大量生産・大量消費社会(1) 9 世界恐慌(1.5)	
	8	国際秩序の変化や大衆化と私たち(23)	・資料を活用して第一次世界大戦の推移や影響などについて考察し、表現することで、大戦の特徴と大戦後の国際協調体制を理解する。		
	9	前期期末考査(1)	・大戦後の社会の変容と社会運動との関連について多面的・多角的に考察し、表現することで、大衆社会の形成を理解する。		
	10		・世界恐慌の背景や影響について多面的・多角的に考察し、表現することで、国際協調体制の動揺を理解する。 ・地図などを活用して第二次世界大戦の推移や影響などについて考察し、表現することで、大戦の特徴と戦後の国際秩序や冷戦について日本の動向と関連付けながら理解する。 ・資料を活用し現代的な諸課題に関わる課題について考察し、探究した結果を表現するとともに、自らの問いに対して、新たに加わった視点や理解が深まった点などについてまとめる。	10 独裁勢力の台頭(1) 11 日本のアジア侵出(1) 12 第二次世界大戦(1) 13 第二次世界大戦と日本(1) 14 第二次世界大戦の終結(1) 15 戦後国際秩序(1) 16 冷戦の始まり(1) 17 日本の戦後改革と日本国憲法(1) 18 日本の独立(1) いまの私たちにつながる課題(2) グローバル化への問い(2)	
	11	第3部 グローバル化と私たち(22)	・グローバル化に伴う社会や生活の変容について問いを表現し、今後の学習に対して見通しを立てる。 ・第三世界や東西両陣営の政策について考察することで、冷戦下の国際政治の変容を理解する。	1 第三世界の登場(1.5) 2 冷戦の固定化と「雪どけ」(1) 3 冷戦の展開(1.5) 4 55年体制と安保闘争(1.5) 5 高度経済成長の光と影(1) 6 ベトナム戦争とアメリカ(1) 7 経済構造の変化(1) 8 日本の経済大国化(1.5) 9 アジアの経済成長(1) 10 社会主義の停滞と新自由主義(1.5) 11 冷戦の終結(1) 12 冷戦後の地域紛争(1.5) 13 地域統合(1) 14 現代世界の諸課題(1) 15 日本の諸課題(1) いまの私たちにつながる課題(2)	
	12	後期中間考査(1)	・資料を活用して冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、生活や社会の変容などを考察し、表現することで、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会について理解する。		
1		・市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などについて多面的・多角的に考察し、表現することで、市場経済の変容と課題を理解する。			
2	後期期末考査(1)	・冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することで、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。			
3		・資料を活用し現代的な諸課題に関わる課題について考察し、探究した結果を表現するとともに、自らの問いに対して、新たに加わった視点や理解が深まった点などについてまとめる。			